

キラリ輝いています！

自覚を胸に秘め、プロとして歩み始めたスタイリスト

# ひとりでも多くの人を笑顔にしたい

## 木村 真巳 さん (毛呂本郷)



木村 真巳 さん  
(きむら まみ)

Stylist

職業：美容師  
年齢：24歳

美容専門学校を卒業後、町内の美容室に勤務。最近、社内試験に合格し、プロのスタイリストとしての第一歩を歩み始めたばかりである。

### ■実家は理髪店

「今頃はよろしくお願いします」丁寧な言葉遣いで迎えてくれた木村真巳さん。素敵な笑顔がとても印象的に感じた。「実家がお店をしているので、昔からあまり人見知りはないんです」と話す真巳さんの実家は、毛呂本郷で古くから理髪店を営んでいる。現在、二代目を務める利男さんは、真巳さんの父親である。「両親の後ろ姿を見て育ったので、自然と今の仕事をしたいと思うようになりまして。今でもお店に来てくれたお客さんが、笑顔で帰る姿が子ども心に強く印象に残ったことを覚えていきます」と話す。

### ■そして、美容師へ

両親は理髪師であるのに対し、美容師を選んだ理由について真巳さんは「小学生くらいのころから、着付けやメイク、ネイルなどトータルにできる美容師になりたいと思っていました」と言う。その理由の一つとして着物の着付けに対する魅力に惹かれたからだと話す。「小さいこ

## Mami Kimura



コンクールで受賞したときの木村さん

ろ毛呂本郷の夏祭り行くときに母に浴衣を着付けてもらったんです。着物や浴衣は特別なときにしか着る機会がないので、着せてもらうことがとても好きでした」と話してくれた。

### ■コンクール最優秀賞

今年の7月、真巳さんは全日本婚礼美容家協会主催の和装トータルコンテストに初出場した。このコンクールは、90分で振袖、ヘア、メイクの正確さと美しさを競うコンテストである。真巳さんは、そのコンクールで最優秀賞に輝いた。「練習を始めたころは、本当に失敗ばかりでした。でも先輩方にサポートをしていただき、何度も何度も練習を繰り返したことで少しずつ自信がついていったんだと思います。でも最優秀賞を受賞するとは思ってもみませんでした。多くの人にお祝いの言葉をいただきましたが、母がすごく喜

んでくれたことが一番嬉しかったです。いただいた賞状は、会社のご好意でお店に飾っていたいただいているんです」と少し照れながら話す。

### ■スタイリストとして

「着付けが好きで始めたこの仕事でしたが、勤めはじめはうまくできなくて挫折の連続でした。でも、周りの人の支えがあって、乗り越えてこられたんだと思います」と感謝の気持ちを忘れない。日々の努力が実り、最近プロのスタイリストとして、会社から認められた。「プロとして仕事をする以上一日でも早くお客さまに認められ、ひとりでも多くの人に笑顔でお帰りたいだけのようなスタイリストになりたいと思います」と笑顔で語ってくれた。

「人を笑顔にしたい」という想い。その想いが父から娘へしっかりと受け継がれているように感じられた。